

平成
24年度

伊予市社会福祉協議会の 主な取り組み



伊予市社会福祉協議会は、地域の高齢者や障がい者等いわゆる要援護者から児童・生徒に至るまで、全ての人が安全で安心して暮らせる環境づくりや行政施策から取り残された方たちへの支援や新たな社会問題への対応等積極的に取り組み、その仕組みを創っていくよう努力してまいります。
皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

●法人運営事業

○理事会・評議員会

理事会・評議員会を年間3〜4回開催し、適正な法人の運営をすすめます。

○理事委員会の実施

理事3委員会を開催し、理事の役割を強化し、積極的な運営を目指します。

○会費制度の充実

目標額：6,340,000円

○広報活動

年6回発行している「社協だより」やホームページにより多くの住民の皆さんを掲載し、より親しみやすい編集に努めます。

○伊予市社会福祉大会の開催

●社協運営事業

○福祉活動専門員

社会福祉活動の中心となる職員として、その資質向上に努めます。

●共同募金運動等の推進

○共同募金運動

目標額：7,300,000円
固定配分と公募による「ささえあい活動支援」の効果的活用の促進を図ります。

○歳末たすけあい運動

目標額：3,500,000円
歳末ふれあいの集い、高齢者友愛訪問、障がい者とボランティアの交流会の開催を推進します。

○まごころ銀行

目標額：2,100,000円
住民の皆さんから寄せられたご芳志が活きるよう、地域で求められている福祉事業に活用します。
地区社協への助成額
2,000,000円

●相談支援活動の推進

○生活福祉資金貸付事業

住民の皆さんの生活の安定・向上を目的に、総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金貸付の一連の業務を民生委員と連携し行います。

○在宅介護高齢者相談支援センター

担当職員の専任体制により要援護者の早期発見、地域ニーズの把握等に努め、各種介護予防対策の推進を図ります。

○一般高齢者介護予防教室の開催
転倒予防教室、認知症予防教室、男性の自立支援のための男性料理教室など多彩なプログラムを開催し、高齢者が孤立したり要介護状態にならないよう、地域における介護予防に取り組めます。

○家族介護教室事業

在宅で要介護者の介護にあたるご家族を対象に、介護の技術や知識を習得する教室を開催し、介護者の孤立・不安を予防・解消します。

○福祉サービス利用援助事業・法人後見事業

市内6地区に支援員を配置し、福祉サービスを受けるための手続きや、判断が困難な障がい者・認知症高齢者に対し、各種申請等の代行や金銭管理等の支援を行います。また、成年後見制度に基づき後見人等を委任し、被後見人等の支援を行います。

○要援護者家具転倒防止対策事業

かつてんぼう支援隊(ボランティア)による、要援護者宅の家具転倒防止のための用具類の取り付け普及を図り、一人住まいの高齢者等の安全確保に努めます。



○心配ごとと相談事業
市民の悩みごと・心配ごとなどの解消のため、定期的に相談事業を開催します。

○ふれあい・いきいきサロン事業
高齢者等が地域でいきいきと暮らすことができるように地域で開催するサロンの開催支援と開催地区の拡充を図ります。

○民生児童委員協議会運営事業
協議会の運営、地区単位民協の支援活動や、小地域ネットワークの推進、生活支援活動の充実を図ります。

○高齢者家庭相談員設置事業
ひとり暮らし高齢者が孤立しないよう、情報提供や近所福祉の推進に取り組めます。

○ボランティア活動推進事業
各種ボランティア講座やボランティアカフェステイバルの開催、ボランティア登録を推進し、ボランティアを必要としている人へのコーディネートを行います。

また、住民（児童）に対しても福祉体験学習や福祉出前講座を開催し、より住みやすいまちへと意識を変え、活動に努めます。



●在宅福祉サービス

《介護予防事業》

○デイサービスじゅらく
要支援と認定された方を対象に、介護予防に特化した通所事業を行います。
・月～金曜日
（9時30分～15時30分）
・老人福祉センター内

○特定高齢者通所型介護予防事業（二次予防）
じゅらくを利用し、地域包括支援センター等との連携により特定高齢者を対象に運動機能向上・口腔機能向上等のプログラムを実施。3か月後に評価を行うことにより介護予防を重点的にすすめます。

○居宅介護予防支援事業

地域包括支援センターから委託を受けた介護保険の要支援者を対象に、居宅介護支援事業所において介護予防を重点にしたケアプランを作成。

○介護予防施設送迎サービス

唐川ふれあいプラザ及び上灘老人憩いの家を利用される方の送迎を行います。

○福祉機器・福祉車両の貸出事業

《介護保険事業》

○居宅介護支援事業

要介護状態にある高齢者に対し、伊

予・双海の2事業所においてケアマネージャー5名がケアプランを作成。

○訪問介護事業

訪問介護員が在宅の要介護者宅を訪問し、食事・入浴・排せつなどの身体介護や炊事・洗濯・掃除などの生活援助を行います。伊予・中山・双海の3事業所において常勤7名、非常勤27名体制でサービスを提供します。

《障がい者自立支援事業》

○居宅介護事業

身体・知的・精神障がい者が可能な限りその居宅において有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、入浴・排せつ・食事の介護を始め、生活全般にわたる援助を行います。

○地域生活支援事業

障がい者が地域で安心して暮らせる社会を目指し、自立した日常生活を営むための移動支援等、また指定相談支援事業を実施し、相談支援機能を充実させます。

●指定管理事業

○老人福祉センター

○唐川ふれあいプラザ

○上灘老人憩いの家

●調査・研究に関する事業

○地域福祉活動計画の推進及び策定
平成20年度に行政の地域福祉計画と一体化に策定した地域福祉活動計画。5年計画の最終年度として計画の進捗状況を把握し集大成を図り、平成25年度からの計画の策定を伊予市と一体的に行います。

●地区社協に関する事業

○大平・中村・郡中・上野各地区
従来からの「敬老の家」「子ども見守り隊」「在宅福祉ネットワーク」等に加え、地区社協が開催する各種研修事業や地域ニーズ把握のための懇談会開催に協力します。

○中山・双海各地区

従来の給食サービス、紙おむつ支給事業を継続して行うとともに、新たな地域ニーズの吸い上げ等の活動に協力します。



平成24年度 伊予市社会福祉協議会一般会計予算

資金収支予算

単位：千円

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
会費収入	6,340	人件費支出	155,158
寄付金収入	2,248	事務費支出	18,410
補助金収入	42,062	事業費支出	18,413
助成金収入	1,046	共同募金配分金事業費	7,050
受託金収入	34,122	助成金支出	5,857
事業収入	1,819	経理区分間繰入金支出	10,943
共同募金配分金収入	8,100	積立預金積立支出	1,314
介護保険収入	97,371	その他の支出	1,816
自立支援収入	7,330		
利用料収入	109		
受取利息配当金収入	123		
経理区分間繰入金収入	10,943		
預け金返還金収入	6,221		
繰入金	1,127		
合計	218,961	合計	218,961

経理区分別内訳書

単位：千円

経理区分	収入	支出	差額
法人運営事業	49,230	49,230	0
ボランティア活動推進事業	1,608	1,608	0
共同募金配分金事業	8,100	8,100	0
まごころ銀行預託金	3,224	3,224	0
まごころ銀行預託金事業	2,100	2,100	0
地域福祉関連受託事業	9,395	9,395	0
介護関係受託事業	16,304	16,304	0
介護保険事業	111,693	111,693	0
障害者自立支援事業	9,574	9,574	0
地域介護福祉事業	108	108	0
指定管理事業	7,625	7,625	0
合計	218,961	218,961	0



＊平成24年度＊

伊予市社協 会員加入のお願い

伊予市社会福祉協議会では、高齢者や障がい者をはじめ、全ての地域住民の方にとって住みよい福祉のまちづくりを目指し、今後、在宅福祉や地域福祉の諸活動を更に充実していきたいと考えております。

つきましては、本年も社協会員にご加入いただきますよう、何とぞ、よろしくお願いいたします。

なお、一般会員は、全戸会員制の趣旨を踏まえて市内全世帯を対象とし、特別会員は、個人・団体・企業を対象とさせていただきます。

なお、募集につきましては、各地区の広報区長さん・地区の役員さんと協議の上改めてご案内させていただきます。



●一般会員会費
1口 500円

●特別会員会費
1口 2,000円



みなさまのご協力を
よろしくお願いいたします。

